

平成23年度 シラバス	学年・期間・区分	1年生・通年・A群	
	対象学科・専攻	機械・電気電子・電子制御・情報・都市環境デザイン	
地 理 (Geography)	担当教員	佐野 武則 (Sano, Takenori)	
	教員室	非常勤講師控室 (tel. 2067)	
	E-Mail		
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義 / 履修単位 / 2単位		
週あたりの学習時間と回数	授業 (100分) × 30回		
[本科目の目標] 世界の人々の生活・文化に関する地域的特色とその動向を社会環境および自然環境と関連付けて理解させ、世界と日本を比較し多面的に考察させることによって地理的な見方や考え方を培い、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を養う。			
[本科目の位置付け] 小・中学校で学んだ地理を土台とし、歴史と同時履修する。本科目および歴史、倫理、政経は互いに有機的に関連し、補完し合うものであり、一般常識の基礎となるものである。			
[学習上の留意点] 教科書・地図帳を利用し授業を進める。基本的用語、地名の定着に留意しながら、現代社会、世界の理解に努める。また、地図の作業や統計資料のグラフ化、読図などの提出を求める。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 地球の大きさと丸さ	8	地球表面は角度や視点を変えると、見えてくるものが違うことを理解させる。世界の略地図の書き方の学習。国境について考えることができる。	地球儀等を使い、その大きさや方位・距離を理解する。 時差の計算する。 略地図を書く。
2. 結びつく現代世界	8	交通、通信網の発達により世界がどのように結びついているか理解することができる。また、食生活を通じて世界の結びつきを学習し、外国人が増えてきたのはなぜかを考えることができる。	日本の国境を認識し、領土問題について考える。 人や物や情報の流れを理解し、世界の結びつきを知ると共に、それに伴う諸問題を理解する。
-- 前学期中間試験 --			
3. 多様さを増す人間行動と現代社会	4	1. 2で学んだ知識や技能を生かし、現代における人間行動の多様さを理解することができる。	世界各国の余暇活動の違いを知り、海外旅行の動向を知る。
4. 生活・文化と自然や社会のかかわり	8	地域の生活・文化と自然環境のかかわりを理解することができる。	人々の暮らしと地形・気候・宗教・文化との関係を知る。
--- 前学期末試験 ---			
試験答案の返却・解説	2	各試験において誤った部分を理解できる。	
5. 異民族との共生	16	民族をとらえる視点、民族の共生を考える視点について学習する。特に民族の言語・宗教・歴史に視点をおいてアラブ世界、インド、韓国、中国等について理解を深めることができる。	民族の意義を知り、互いに尊重する心を養う。
-- 後学期中間試験 --			
6. 日本の近隣諸国	4	4. 5で学んだ知識や技能を生かし、日本の近隣諸国(中国、韓国、ロシア)の人々の生活と文化を理解することができる。	他民族との共生のための工夫を考える。 近隣諸国との共生の知恵を考える。
7. 地球的課題の解決	8	人口、都市・食料・エネルギー問題、森林などについて地球的視野で理解を深めることができる。	地球的課題を理解し、その解決方法を一人一人が考える。
--- 後学期末試験 ---			
試験答案の返却・解説	2	各試験において誤った部分を理解できる。	

